

審議した主な議案

平成29年度一般会計 補正予算(第5回)

本件は、12月1日の本会議において予算特別委員会(渡辺ふき子委員長)に付託し、12月14日、20日の計2回にわたり審査を行いました。12月20日の委員会では、起立採決の結果、起立多数により、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

12月22日の本会議では、組替え動議が提出され、否決した後、原案について採決を行い、起立採決の結果、起立多数により、原案のとおり可決しました。

【反対討論(要旨)】

たゆ久貴(日本共産党)

市歌作成にかかる400万円は高いと考える。議論が不十分なまま進められており、専門家に頼むのではなく市民公募にするなど費用削減を検討すべき。学校給食調理の業務委託に反対する。財政効果がないことや調理体制の不安定さなどの問題があり、直営で行うべき。市は受益者負担や民間委託など市民生活を犠牲にする一方で、市歌や不要不急の大型開発にはちゅうちよなくお金を出すという姿勢を改めるべき。お金の使い方を市民生活第一にするよう求める。

【賛成討論(要旨)】

岸田正義(市議会民進党)

市制施行60周年を機に市歌を制定し、市民が抱く小金井市への親近感や愛着を高め、ふるさと小金井に対する郷土愛を深めることはシティブロモーションにつながる重要な取組である。その対象はマーケティングで測

れるものではなく、今後生まれる命も含めた全ての市民であり、全てはこれから始まることである。重要なことはその可能性を否定するのではなく、市民1人が観光大使となつて、様々な場面で発信してもらえらる市歌を共に考えて作ることである。

【賛成討論(要旨)】

田頭祐子(生活者ネット)

市歌制定支援委託料40万2千円の予算のうち、音源制作料1式261万円は、ヴォーカル譜、男女混声譜、女性または同声譜及び吹奏楽譜の4種の作曲料が含まれている。果たして初めから4種の作曲が必要であるかは大いに疑問。基本的な旋律で十分アレンジし、楽しめる。募集される選定委員会の意見によっては、この予算の減額もあり得るとの答弁を前向きに評価する。選定委員会には、幅広い年代の市民や市内で活動する音楽関係者などが含まれる配慮が必要。

【賛成討論(要旨)】

沖浦あつし(こがあす)

保育士等キャリアアップ補助金の更なる活用は、保育士等の賃金の改善とともに、待機児童解消に向けた本質的な対策の1つであり、スピード感のある対応を評価。市歌作成について、定着まで時間を要するが、ふるさと納税等で、市を離れた方にとつても地元への愛着を表すことができる時代だからこそ、ラニングコストのかららないこの周年事業を評価。市民参加で全ての世代に親しまれるものを作り、市民によって広まる環境を作ることを要望し、賛成する。

福祉会館跡地の地上権 設定契約の合意解除 に係る和解について

本議案の概要は1面に掲載しています。

【反対討論(要旨)】

渡辺大三(情報公開)

1 宗教法人との和解は一者随意契約的な取引という本質を覆い隠すもの。2 売却した場合の価格等の市場調査が、不動産会社等を対象に行われていない。市長は市場調査を拒否している。3 3億8千万円とも試算される地上権なのに、和解額は1億6千万円で、2億2千万円もの開きがある。市長はなぜそうなるのかの調査を拒否している。宗教法人に利益が発生した場合、憲法第89条への抵触も懸念される。4 本件に関しては、監査請求書を提出している。

【賛成討論(要旨)】

湯沢綾子(自民党・信頼)

不動産の処分にあたっては複数の鑑定を行うのが通常であるが、本件で市は不動産鑑定を実施せずに価格を決定しようとし、議会から指摘を受けて一旦議案を撤回することとなった。市民への説明責任が果たされないことから厳しく指摘せざるを得ない。最終的には、2者鑑定の上、地上権価格審査会を開いて手続を満たしており、更地となった後も地代が発生するリスクや、今以上の混乱で貸主に更なる迷惑をお掛けしないこと等を考慮し、議案自体には賛成する。

【賛成討論(要旨)】

森戸洋子(日本共産党)

地上権設定契約の合意解除の和解について、貸主との売買で不動産鑑定評価や価格審査会に

かけなかったことは、透明性に欠けていた。貸主に迷惑を掛ける結果となり、西岡市長の責任は二重に重大であった。今回賛成するのは、こうした問題点がありつつも、市が議会の指摘を受け、2者による不動産鑑定評価と新たに地上権価格審査会を設置し、市としての独自の価格をもつて、貸主との間で再交渉したことからである。

【賛成討論(要旨)】

鈴木成夫(市議会民進党)

市は、地上権は地方自治法上の財産で、相手方から対価なく契約解除できないと主張し、跡地の地代を支払わない強い意志で交渉した成果であり、議会の意見に耳を傾け、2者の不動産鑑定を行い、価格審査会にも諮り算出された適正価格で交渉に当たってきた。和解不成立の場合、再交渉の確証はなく、確実に得られる1億6千万円を得られず、約9千万円の地代支払い債務が残る、市民に多大な不利益を強いてしまう。今回の判断は妥当で、最善の措置である。

【賛成討論(要旨)】

白井 亨(こがおも)

前定例会で上程を見送った後、市議会からの指摘等を踏まえ、市として2者による不動産鑑定を実施し、金額を設定した。採決態度は悩んだ。本来であれば地上権設定の合意解除ありきではなく、売却の可能性も追求した上で、市として最良の結論を出すべきだが、市長の判断で事務を進め、ここまで来てしまった。この段においては、機会損失により市民に不利益を生じさせる可能性もあるため、現在示されている条件下で、その金額の妥当性を判断し、賛成する。

(仮称)新福祉会館機能に係る 議員間討議を開催

平成29年第3回定例会において、「市民サービスの充実に向け、(仮称)新福祉会館の床面積の弾力的見直しを求める決議」を可決しましたが、11月6日開催の庁舎及び福祉会館建設等調査特別委員会での部局の答弁から、本決議を踏まえた対応については検討を行っていないことが明らかになりました。

こうした状況を踏まえ、(仮称)新福祉会館に導入すべき機能について、市議会としての意見を示すため、12月20日に議員間討議を開催しました。

当日は、おおむね全議員の3分の2に当たる16人以上の賛成が得られた次の5つの項目について、集約した意見を市長へ送付するとともに、12月22日の本会議で議長報告を行いました。

- 福祉総合相談窓口
- 小金井悠友クラブ連合会事務局
- 地域の高齢者サークル等の居場所
- シルバー人材センター
- 福祉共同作業所



熱のこもった議論が交わされた議員間討議

声の議会だよりを ホームページで お聴きいただけます

前号から、市議会だよりの音訳版「声の議会だより」の市議会ホームページでの配信を開始しました。パソコンやスマートフォン等からお聴きいただけますので、ご家族やお知り合いに視覚に障がいのある方がいましたら、ご利用をお勧めください。

スマートフォン等用アプリ「マチイロ」で配信

市議会だよりをより多くの方にお届けするため、スマートフォン等用アプリ「マチイロ」での配信を行っています。左記のQRコードを読み取るか、お手持ちのスマートフォン等で、「マチイロ」と検索し、アプリをダウンロードして、ご利用ください。



全員協議会を 開催しました

【2月6日】
▼(仮称)小金井市新福祉会館建設基本計画(案)について

閉会中の委員会日程及び審査案件

建設環境委員会

1月22日(月)午前10時
▶駅周辺整備に関する調査 ▶市内都市計画及び住環境に関する調査 ▶資源循環社会形成に関する調査

行財政改革推進調査特別委員会

1月26日(金)午前10時
▶行財政改革の推進に係る諸問題の調査

議会運営委員会

1月30日(火)午後1時、2月16日(金)午後2時
▶議会改革に関する諸問題の調査 ▶①次期定例会(臨時会を含む。)の会期及び会議日割等、議会運営に関する調査、②議会の会議規則、委員会条例等に関する調査、③議会運営に関する議長の諮問事項について

厚生文教委員会

2月2日(金)午前10時
▶(公財)小金井市体育協会への補助金交付の一時停止を求める陳情書 ▶公益財団法人小金井市体育協会への補助金の一部返還に関する陳情書 ▶大腸

がん検診の充実を求める陳情書 ▶国に対して「待機児童解消、保育士等の処遇改善のための財源確保を求める意見書」の提出を求める陳情書 ▶文化遺産とおぼしき物の処理に関する陳情書 ▶子ども施策に関する諸問題の調査 ▶小金井市保健福祉総合計画の策定と運用について

庁舎及び福祉会館建設等調査特別委員会

2月6日(火)全員協議会終了後
▶新市庁舎の床面積縮減等による建築コスト削減等を求める陳情書 ▶市庁舎の建設面積を縮減することにより、図書館本館の建設を進めることを求める陳情書 ▶公民館本館を新福祉会館と併設する旨の議会意思の確定を求める陳情書 ▶庁舎及び福祉会館建設等に係る諸問題の調査

総務企画委員会

2月15日(木)午前10時
▶東京都に、第32回オリンピック2020東京の開会式に競技施設等の工事従事者の入場行進を求める等の意見書提出を求める陳情書 ▶東小金井駅北口まちづくり事業用地整備活用計画に関する陳情書 ▶小金井市歌を手作りで作成する事を求める陳情書

各案件に対する討論の原稿は、議員が作成しています。